

令和2年3月18日 記者会見資料

日本医師会医師賠償責任保険制度への 医療通訳サービスの付帯について

令和2年3月18日

公益社団法人日本医師会

担当 松本常任理事・城守常任理事
(事務局 医賠償対策課・地域医療課)

医療通訳サービスの検討経緯・目的・概要

経緯

訪日外国人が増加する中で、医療通訳の必要性が高まる中、令和元年6月に開催された日本医師会代議員会において外国人患者に対する医療機関の体制整備として、団体契約による電話医療通訳の全国展開を急ぐべしとの意見が出され日本医師会として医療通訳サービスにてついでに検討を開始。

医療機関を受診する外国人患者数の増大が予測されることから、医療通訳サービスの活用により医師と患者の良好なコミュニケーションを確保し、医療事故の防止につなげることを目的とする。

1. 契約形式：日本医師会医師賠償責任保険 基本契約への医療通訳サービスの付帯
2. 利用対象者：開設者・管理者が日本医師会A①会員である医療機関の医師・職員

3. 医療通訳の内容

(1) 電話医療通訳

A①会員一人あたり年間20回まで無料で利用可能、17言語 毎日 8：30～24：00

※通訳時間は30分まで1回とし、30分を超過した場合は2回目としてカウント。

【ご参考】 平均的な電話医療通訳時間は15分～20分（通訳サービス提供会社統計）

(2) 機械翻訳（アプリケーションを利用した翻訳）

利用回数無制限、17言語、毎日24時間

4. 医療通訳提供会社：メディフォン株式会社

5. 開始時期：令和2年4月1日

全てのA1会員が利用可能であり、現在の日医医賠償責任保険の保険料の範囲内で付帯サービスとして実施するため、一定の利用制限を設定する必要があり、今後、利用実績を踏まえて内容の見直しを行っていく予定。

医療通訳サービスの内容

電話医療通訳

対応言語：17言語

対応時間：8:30-24:00毎日



※IC、ムンテラにも対応

英語	スペイン語	インドネシア語
中国語	ポルトガル語	ネパール語
韓国語	ロシア語	ペルシア語
ベトナム語	フランス語	ミャンマー語
タイ語	ヒンディー語	タガログ語
	モンゴル語	広東語

機械翻訳

対応言語：17言語

対応時間：毎日24時間



サービス提供会社が医療専門の会社として蓄積してきた、医療現場における通訳ログを活用して精度を高め続けている医療機関向け機械翻訳。

言語は電話通訳と同じ17言語対応しており、24時間、制限なくいくらでも利用可能。



来院・受付



機械翻訳

電話通訳

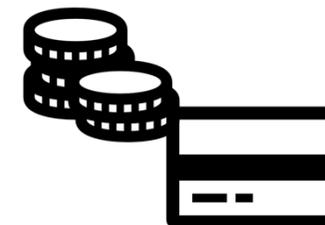
診察・検査



機械翻訳

電話通訳

会計



機械翻訳

電話通訳